



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2018.7.10 Vol.157

三蔵五訓

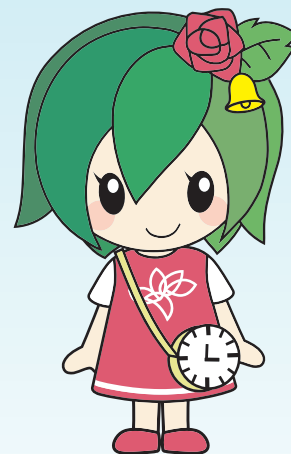
真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



2020年12月末竣工予定『未来創造館』

揺るぎなく前進！

卒業生の就職状況及び充実した就職支援	1
卒業生のコメント	2
新入生合宿オリエンテーション	3
学内トピックス	5
研究活動	8
インフォメーション	9
学友会短信	10
国際交流瓦版	11
学内人事	12
財務状況	13
入学試験の概要	15



福山大学イメージキャラクター
「ふくりん」

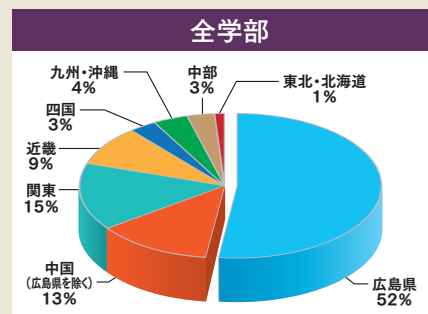
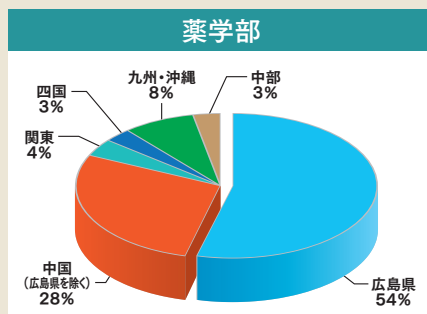
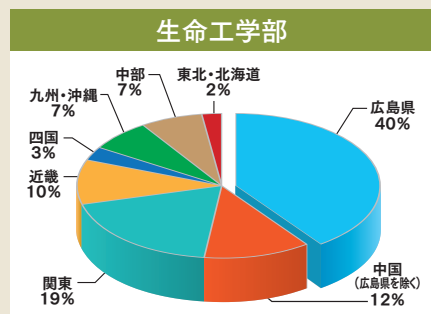
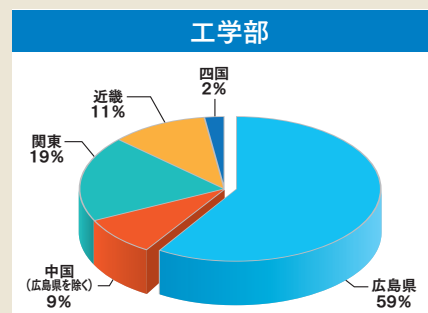
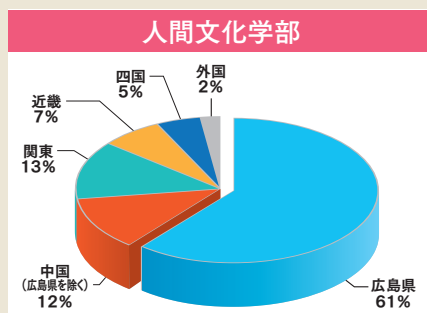
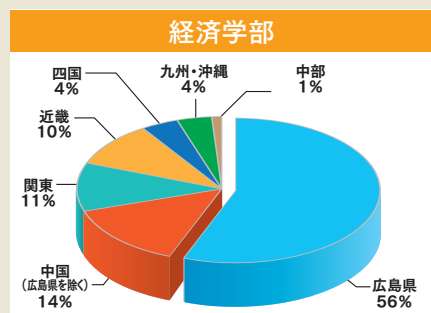
平成29年度の就職状況と就職支援

平成29年度に本学が受付けた求人は2,963事業所からでした。就職情報サイトのWEB募集等を加えれば、求人数はかなり増加しています。一方、平成29年度における卒業生の就職率は99.6%で、厚生労働省と文部科学省が公表した全国の大学生の就職率98.0%や中国・四国地区の97.4%を上回ることができました。また、広島労働局が公表した県内大学生就職率95.7%も大きく上回っています。

現在は、就職委員を中心に今年就職した卒業生の就職先を優先的に企業訪問し、卒業生のフォローと新卒採用枠拡大のお願いを行っています。また、学内での企業説明会を積極的に増やすなど、大学を挙げて就職支援を強化しています。

平成29年度卒業生の各学部・全学部の地域別進路状況は、下記のとおりです。

平成29年度 地域別進路状況



福山大学独自の就職支援の取り組み

本学では、学生一人ひとりが少しでも希望する職業に就けるよう、ゼミ担当教員を中心に各学部・学科から選出された就職委員や就職課職員が一体となった独自の下記プログラムによる就職支援を行っています。

国家資格「キャリアコンサルティング技能士1級」保有の職員が行う就職相談や面接練習は、学生の希望する日時に随時対応しています。また、個別指導としては学生が希望する職種・業種・企業名をゼミ担当教員や就職課職員が確認したうえ、適切な指導や支援を行っています。

おり、面談内容を就職情報システムに登録することでゼミ担当教員と就職課職員が相互に情報を共有することができます。このように、一人の学生に多方面から一貫性のある就職支援を可能にしています。

さらに、WEB就職システムは、学生が大学宛の求人票を学内だけでなく自宅からでもパソコンやスマホを使って閲覧・検索できたり、自分が希望する企業や職種・業種を登録しておけば、該当する求人票が大学に届いた時に学生個人のメールアドレスに案内したりする機能も備えています。

1. 就職ガイダンス

- 第1回就職ガイダンス：5月
就活スケジュールとこれからの対応
- 第2回就職ガイダンス：6月
マイナビ全国WEBテスト
- 第3回就職ガイダンス：10月
進路について、進路希望票提出
- 第4回就職ガイダンス：10月
リクナビ全国WEBテスト
- 第5回就職ガイダンス：11月
働くこと、労働法について
- 第6回就職ガイダンス：12月
体験発表会
- 第7回就職ガイダンス：1月
求人票の見方、企業選びの基準
- 第8回就職ガイダンス：2月
合同企業説明会事前準備の仕方

2. 就職対策講座

- WEBテスト
マイナビ全国テスト
- 秋季SPI講座(業者)
4コマ
- WEBテスト
リクナビ全国テスト
- 業界研究講座
リクナビ、マイナビ主催
- 履歴書・エントリーシートの書き方講座
随時
- 面接対策講座(グループ面接)
随時
- グループディスカッション対策講座
随時

3. 学内合同企業説明会

- 3月 福山ニューキャッスルホテルで実施
広島県内外から150社が参加
- 3月 34号館で実施
広島県内外から540社が参加
- 4月 薬学部対象 病院・企業等170社が参加
- 6月 留学生対象

※次回は夏季休業後に実施予定

4. 単独企業説明会

本学学生のために企業を招き、個別の会社説明会を実施

5. 保証人との就職懇談会

薬学部：4月
経済学部・人間文化学部・工学部・生命工学部：12月

6. 就活相談

国家資格「キャリアコンサルティング技能士1級」保有職員による相談対応
ジョブサポーターによる相談対応、企業相談

7. 就職情報サイト運営会主催の合同企業説明会に貸切バスで参加

広島・岡山・大阪・福岡の各会場に参加

8. 同窓会による業界研究

各業界で活躍するOB・OGによる業界説明会の実施

卒業生のコメント

光成 拓也 税務会計学科(平成30年3月卒業) 就職先:西日本旅客鉄道(株)



私は就職活動において本当に働きたいと思う仕事を決めたのは、合同企業説明会や個別の会社説明会を経てからでしたが、準備は1年生から少しずつ始めていました。学生生活では弓道部と大学祭の運営委員で活動し、弓道部では主務、大学祭の運営委員では委員長の職務を全うしました。また、勉学にも励み、3年生の時には学生表彰もしていただきました。私の経験から就職活動で大切なのは、どれだけ自身の強みが具体的に伝えられるかだと思います。学生生活の3年間で、自分の強みをどれだけ身につけることができるかで将来の道は大きく変わってい

くと思います。私は部活動での実績に加えて、それをやり遂げるため、常に時間の計画や自己管理を重視して学生生活を過ごしました。学生生活で培った計画性と自己管理能力があつてこそだと思います。

社会人としての最初の配属先は三原新幹線保線区となり、山陽新幹線をお客様に安心・信頼してご利用いただけるように線路の管理を行う業務です。現在はまだ研修中の身ですが、1日でも早く1人前になれるように、日々研鑽を積み重ねていきたいと思っています。

吉川 万葉 人間文化学科(平成30年3月卒業) 就職先:しまなみ信用金庫



私が就職活動を開始したのは、全国平均的な3月でした。家庭の事情等も考慮した上で、地元を中心とした合同企業説明会や会社説明会にできる限り参加しました。私が就職活動において最も意識していたのは、面接での「自己PR」です。「志望動機」も蔑ろにはできませんが、私が受けた企業の面接官で「皆さん、志望動機は似たようなことをおっしゃるんですよ。」と漏らした方がいらっしました。他の就活生との差別化を図りたいのであれば「自己PR」に時間をかけ、もし不採用になったとしても「どこを改善すべきか」をしっかりと見極め、反省すること

が大切だと思います。それは、決して数居の高いことなく「自分が信念を持ってやってきたこと＝好きなこと」をどのように伝えるのかという部分に真剣に向き合い、思考するということです。これは、大学生の間に培ってきた「自分で考える力」を試される時であると思います。自分の生き方に自信を持ち、誠実であることを心がければきっと実を結ぶはずです。皆さんの未来が素敵なものになることを祈っています。

竹本 一哉 情報工学科(平成30年3月卒業) 就職先:(株)両備システムズ



私は就職活動で準備期間の短さによるスケジュールの過密さに苦しみました。同級生は研究室配属が遅かったので、常に時間に追われており、全く余裕が無かったことを覚えています。この体験を教訓に、いざ就職活動を始めた時に焦らなくてもすむように、前もって準備をしておくことをお勧めします。優先順位を決め、余裕を持たせたスケジュールリングを行っていきましょう。また、就職活動ではぶれない企業選びの軸を持つことが重要です。私は「社員の人柄の良さ」「相談がしやすい職場環境」を重視していたので、今の会社を選びました。すぐに相談ができる環境

が整っているため、わからないことをわからないままにしないということが実践できています。ぶれない軸を持つことで、自分の理想とする企業に巡り合える確率も上がると思います。

新卒採用での就職活動は一生に一度きりです。後悔の無いように「悩んだらやる」「とりあえず受けてみる」という意識を持って、積極的に活動を行ってください。皆さんのこれからのご活躍を心より楽しみにしています。

溝口 雅貴 海洋生物科学科(平成30年3月卒業) 就職先:フジパングループ本社(株)



私は就職活動を始めるにあたり、まず初めに自分がどのような仕事をしたいのかを考えて取り組みました。そして、大学で行われた履歴書作成やSPI講座などの就職セミナーには全て参加しました。さらに、就職活動が本格的に始まり、合同企業説明会や会社説明会には積極的に参加しました。その際には、事前に就職活動ノートを作り、気になる企業の情報や説明会で説明された内容や質問に対する返答を企業ごとに記録して試験に臨みました。この自作ノートを活用することにより、試験に自信を持って臨めると思います。メモをとることは実際に社会人になってから

も重要だと実感していますので、後輩の皆さんにはこの機会に身につけてもらいたいと思います。

さらに、とても重要だと思うことは、準備を入念に行うことです。企業に興味を持ってもらえるような志望理由は、自分の人生経験を交えたエピソードが重要だと思います。用意周到に準備をすれば、自信を持って就職活動に臨めます。担任の先生や就職課の方にアドバイスをもらうことも時には必要ですので、負けずに頑張ってください。

横田 留奈 薬学科(平成30年3月卒業) 就職先:日本鋼管病院



私は就職先を病院にするか薬局にするか悩みましたが、最終的に病院に決めました。薬局は病気を治すだけでなく、気軽に行くことができることから生活面でのサポートもしやすいところがメリットだと考えていますが、多くの場合、患者さんの情報源が処方箋と少なく、処方意図を把握しにくいところがあります。一方、病院では病棟活動があり、入院患者の症状を把握しやすく、よりきめ細かく症状に合った処方ができます。そして、多くの病気の症例や最先端の医療情報から豊かな経験を積むことができます。また、チーム医療に参加して患者さんの治療に直接関

わることができるのもメリットだと考えました。

就職活動とは、自分と向き合うことだと私は思います。自分は何がしたいのか、今後の人生をどのように歩んでいきたいのか考えなくてはなりません。6年生は国家試験も控えており大変な時期ですが、焦らずじっくりと考え、後悔のないように就職活動に臨んでほしいと思います。一生懸命取り組んだことは決して無駄にはならないので、今を大切に頑張ってください。

新入生合宿オリエンテーション



経済学部 オリエンテーションで友達がたくさんできました！

先日、「ツネイシしまなみビレッジ」において1泊2日の新入生合宿オリエンテーションが行われました。私たちは別々の高校の出身でしたが、このオリエンテーションで仲良くなったので、今回の文章と一緒に書かせていただきます。

1日目は、くじでグループを決めて自己紹介をしたり先輩方の話を聞いたりして、レクリエーションを楽しみました。最初は緊張しましたが、話をしたことのない人と話せて親交を深めることができたので良かったです。2日目は、サッカー場で〇×ゲームや借り物競争、綱引きなどのミニ運動会をしました。特に盛り上がったのは綱引きで、みんなで協力することで団結力が高まりました。

た。このオリエンテーションにはたくさんの先輩方も参加されており、先輩方が私たち新入生を引っ張ってくださいました。そんな先輩方の姿を見て私たちも刺激を受けましたし、先輩方からいろいろな話を聞いて自分の将来について考えることもできました。

今回のオリエンテーションがきっかけになり、仲の良い友達がたくさんできたので、今では毎日楽しく過ごしています。これから4年間、勉強も遊びも両立させて充実した大学生活を送っていききたいです。

経済学科 1年 阿部 恭子
経済学科 1年 入江 香衣

人間文化学部 新たなスタートダッシュを切りました！

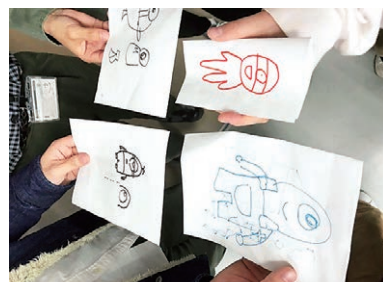
入学して早々、私たち心理学科はメディア・映像学科の学生と一緒に、新入生合宿オリエンテーションに参加しました。

初めは、心理学科の学生だけで先輩や先生方に教えていただきながら時間割作成を行いました。どの授業が人気で面白いかなど、たくさん質問ができたのでわからないことがあってもすぐに解決でき、スムーズに時間割を作成することができました。作成後は、メディア・映像学科の学生と一緒にレクリエーションを行いました。最初に10人を1グループとして自己紹介ゲームを行い、初めて聞くグループの人たちの名前に悪戦苦闘しながらも楽しくゲームを展開することができました。また、ドッジ

ボールやイラスト伝言ゲームなどの様々なアクティビティを通して、たくさんの人たちとコミュニケーションをとることができたおかげで大学生活の不安は払拭され、充実した合宿となりました。

合宿前は様々な不安と葛藤していましたが、終えてみれば不安も消えて大学生活を送るのにふさわしい最高のスタートダッシュを切ることができました。まだまだ長いようで、あっという間の4年間を充実したものにできるように、何事にも全力で突っ走っていききたいと思います。

心理学科 1年 藤上 奈々佳



アイデアソン実習中



キャストーム工場見学

工学部 アイデアソン実習、工場見学、充実の合宿

私たちスマートシステム学科の新入生は、平成30年4月5日(木)から「ツネイシしまなみビレッジ」で合宿オリエンテーションを行いました。

最初に「アイスブレイキング」として、自己紹介により場を柔らかくした後、4グループに分かれて「毎日をちょっと便利に楽しくする発想」というテーマのアイデアソンを行いました。これは、生活が便利になったり毎日が楽しくなったりする全く新しい製品のアイデアをたくさん出してグループで競うものです。最初は新入生からアイデアは出ませんでしたが、先輩や先生方のサポートやヒントを得て、次々とアイデアが出てエンジニアリングはこうやって始まるのだと実感で

きました。2日目は朝早くから数学テストに始まり、アイデアソン発表会までに終わらせて、午後は(株)日東製網とキャストーム(株)での工場見学と製造体験へ行きました。日東製網では、独創的な無結節網製造や宇宙ゴミの研究などに驚き、キャストームでは、鑄造について新しい様々な取組をされていることに感動して、自分たちの成長目標も見えてきました。1日半をフルに使って新入生どうして知り合うことができ、スマートシステム学科の学生として良いスタートが切れた充実のオリエンテーションになりました。

スマートシステム学科 1年 高橋 景虎

生命工学部 合宿で得た友情を大切に

入学式が終わり、全く知らない土地と同級生に何とか慣れようと奮闘している時に、新入生合宿オリエンテーションが行われました。これを機に、自分に合った友達を作りたいと思いました。

初日の午前中は1年間の履修科目を選択し、時間割を作る時間にあてられました。当然わからないことが出てきましたが、先生方や先輩方に相談すると親切に教えてくださったので、容易に作業を進めることができました。そして、午後は宿泊先に移動しました。たった一晩でしたが、一緒に夕食を食べ、風呂に入り、レクリエーションを楽しむ中で同級生と自然に仲良くなり、今では一緒に大学生活を過ごす友達を作る

ことができました。翌日は因島キャンパスの施設を見学しました。水族館では、学生自らが積極的に運営していることに感嘆し、バックヤードには見たこともない生物がいて心が躍りました。また、養殖施設や研究棟では、学生が興味を持ったことができる設備が整っていると思いました。私が入学前から希望していたコースの他にも、いろいろな興味の持てる学びがあることを感じました。

これからも友情を大切にし、4年間の大学生活を実りあるものにしていきたいと思っています。

海洋生物科学科 1年 田中 天真



薬学部 新入生合宿オリエンテーションに参加して

薬学部の新入生128名は、福山市自然研修センター「ふくやまふれ愛ランド」で1泊2日の合宿オリエンテーションを行いました。

入学直後の行事だったこともあり、最初は楽しい気持ちよりも不安な気持ちの方が大きかったのを覚えています。到着してすぐに、オリエンティングを行いました。天気も良かったので、班のメンバーで協力しながら全問回答を目指しました。班の中には初めて話す人もいて戸惑いましたが、すぐに打ち解けることができ、仲を深めるきっかけになりました。夕食後は「合作つづり方」というゲームを行いました。書く内容について班のメンバーと言葉を交わさずに物

語を書き出し、完成させるというものでした。前の人が何を伝えたくて文字を書いたのかを考えるのが予想以上に難しく苦戦しましたが、私たちの班は見事1位をとることができ、大変盛り上がりしました。

このオリエンテーションを通して新しい環境に慣れることはもちろん、人の優しさや関わる楽しさを改めて感じました。大学生活についてアドバイスをしてくれる先輩方、気軽に相談できる先生方、仲を深めた仲間とのつながりを大切にしながら、6年間自分の目標に向かって頑張っていきたいと思っています。

薬学科 1年 荻野 光莉



第7回「福山大学の桜」ミニフォトコンテストを実施！

構内の自然は、四季折々の風景を楽しませてくれます。特に、桜並木は近郊にお住まいの皆様にも親しまれています。このような「福山大学の桜」を題材に、毎年恒例のミニフォトコンテストが実施されました。

今年度は学生の部に22作品、教職員の部に7作品の応募をいただき、学修支援システム「セレッソ」によるWeb投票により、以下の作品が選ばれました。なお、表彰式は平成30年5月21日(月)に行われ、松田文子学長より表彰状と記念品が贈呈されました。

【学生の部】最優秀賞：「春のとおりみち」(経済学部税務会計学科3年生：濱田侑弥さん)、優秀賞：「春のきざし」(経済学部経済学科3年生：坂口圭一郎さん)、さくら賞：「溢れる夕陽を」(工学部建築学科4年生：石岡諒真さん)

【教職員の部】最優秀賞：「月下満開」(工学部建築学科：酒井要助手)

学生の部の最優秀賞作品のコメントには、「普段、写真を撮りにいろいろなと

ころへ行っています。あまりこの坂には行かないのですが、桜の写真を目的で行ってみるととても綺麗な風景が……。ということで撮ってみると、いい写真が撮れました。」とあり、日常とは違った視点から桜の美しさを再発見された様子が伺えます。このように、このミニフォトコンテストが日常の大学生活の中にあってキャンパス内の美を発見する機会となり、皆さんの心を和ませるきっかけの一つになれば幸いです。

最後に、このコンテストは歴代の学生委員長や副委員長を始め、多くの関係部署の皆様のご理解とご尽力によって引き継がれ、第7回を迎えることができました。作品をご応募いただきました皆様に御礼を申し上げますとともに、年々歳々花相似たりよろしく桜木の健やかならんことと次回の盛会を祈念いたします。

学生委員長 田中 哲郎



学生の部：最優秀賞作品「春のとおりみち」



表彰者と記念撮影

薬学部生が「2018ローズ福山」に決定！



「2018ローズ福山」決定を松田文子学長に報告。
向かって左が青川さん



薬学部生として研究室で実験中

「ばらのまち福山」は、観光アシスタントとして毎年2人の「ローズ福山」を選出し、福山の魅力を積極的にPRしています(公益社団法人福山観光コンベンション協会主催)。平成30年4月17日(火)に、5年生の青川ひかりさんが「2018ローズ福山」に選出され、5月19日(土)の「第51回福山ばら祭2018」において、先代「ローズ福山」からバトンタッチされました。今後1年間、もう1人の「2018ローズ福山」とともに、福山市の代表として各種イベント、公的行事でのアシスタント、テレビ、ラジオ等での観光PR、友好親善都市への海外任務などで活躍することになります。また、青川さんは薬学部5年の学生でもあります。薬学部では、5年生は共用試験という試験に合格し、これから実際、社会での薬剤師の仕事を体験する長期の病院・薬局実務実習に出立する学年です。青川さんも第Ⅱ期と第Ⅲ期の5ヵ月

間、実習を行う予定です。

今回の決定を受けて、青川さんは次のように抱負を話しています。「福山で生まれ、福山で育ち、福山大学に進学しました。福山が大好きです。福山が好きという人を1人でも多く増やしていきたいと思っています。私は、実習に行かせていただく福山の病院で22年前に生まれました。自分が生まれた病院で、福山大学薬学部実習生として実習に行けることをとても嬉しく思っています。薬学部生として、そして「ローズ福山」として、一生懸命頑張ります。」

これから1年間、学生と観光アシスタントの両立をしつつ、本学が所在する福山市の魅力を色鮮やかな「ばらの花」のように、明るく爽やかに広めていってくれると期待しています。

薬学部 教授 井上 敦子

カリフォルニア大学リバーサイド校(UCR)と共同奨学金プログラムをスタート!

学生のアメリカ留学を奨励することを目的として、本学とカリフォルニア大学リバーサイド校(UCR)は、本学または福山平成大学の英語成績優秀者に対して、UCRで実施される英語研修の奨学金を共同で授与することになりました。これは、TOEICスコアが優秀かつ国際貢献の意欲が高い学生に対して、UCRでの4週間の英語研修の学費と登録料を各大学がそれぞれ1名分援助するものです。この合意は3年間継続され、平成31年度に最初の学生がUCRで学ぶ予定です。また、学生は研修参加後に「UCR大使」となって、種々の国際交流イベントの運営に積極的に協力してもらう予定です。

それに伴い、平成30年3月23日(金)にUCRエクステンションセンターの関係者が来学され、調印式が執り行われました。

松田文字学長からは「この奨学金で留学した学生は、アメリカで国際感覚を身につけて福山大学に帰ってきた後、種々の国際交流イベントの運営に携わることによって他者に自分の経験を伝え生かすことを通して、さらにより高いグローバル人材へと成長してもらいたいと思っています。」と学生への期待が述べられました。

この奨学金は、双方の大学の英語名称の頭文字にちなんだFUTURE(Fukuyama University and The University of California Riverside Extension)の言葉を使い、Shaping Your FUTURE Scholarshipと名づけられました。なお、調印式後には、友好を深めるために学生や教職員との交流会も開催されました。

総務部 企画・文書課



第2食堂が「どん亭 彩雲」としてリニューアル!

第2食堂といえば、昨年リニューアルしたカフェテリア爽風とともに、学生や教職員の皆さんにはお馴染みの1号館2階にある食堂でした。この度、メニューや内装などを一新して「どん亭 彩雲(さいうん)」としてリニューアルしました。カフェテリア爽風のリニューアルに続いて、学生の皆さんが学内でより気持ちよく過ごせる環境を作ろうという試みの一環です。今回のリニューアルでは、メニューをうどん、そば、天丼など学生が気軽に食べられる和食に統一しました。それに伴い、内装も木材系材料を活かした温かみのある和風の雰囲気に一新しました。

平成30年3月31日(土)にリニューアルオープンセレモニーが行われましたが、この食堂の名前については学内での募集選考により決定され、その名付け親は薬学部4

年生の角拳斗さんです。角さんは、テーブルカットにも参加しました。

オープン以降の「どん亭 彩雲」は多くの学生で賑わっていますが、学生の皆さんからは「美味しい!」「量が多くてけっこうボリュームがある!」というありがたいご意見をいただいています。また、定食でがっつり食べる学生もいれば、ミニサイズの丼(とり天丼やえび天丼など)で軽く済ませる学生もいて様々です。

カフェテリア爽風に続いて、学生の皆さんがより気軽に、そして楽しんで利用してもらえることを期待しています。新しくなった「どん亭 彩雲」を、是非、利用してみてください。

総務部 企画・文書課



日本で最もブルガリアと交流の深い大学かも?

昨年度に引き続き、『日本とブルガリアを繋ぐ懸け橋となる双方向学生交流プログラム』が、日本学生支援機構(JASSO)の平成30年度双方向海外協定留学プログラムに採択されました。昨年度は年度末ギリギリのタイミングでの追加採択でしたが、今回は本採択でした。今回採択された33件のうち、29件が国公立大学であることに對し、私立大学は福山大学、麗澤大学、国立音楽大学、上智大学の4件だけで、これも本学が長年続けてきたブルガリアとの交流が評価されたものだと思います。

本学は、ブルガリアで最も歴史と格式があるソフィア大学と平成22年に学術教育交流協定を締結し、双方向で学生の交換を行っています。また、平成28年にはソフィア大学に次ぐ名門大学であるヴェリコ・タルノ

ヴォ大学とも協定を締結して、学生の交換を行っています。これに加え、ソフィア大学教育学部とはErasmus+協定を結び、学生に加えて教員の交流も行っています。ちなみに、Erasmus+とは欧州連合(EU)がEU内の大学とEU外の大学との間の学生や教員の交流を支援するプログラムです。

また、本学が所在する福山市はブルガリアのカザンラク市とバラを通じた友好関係にあり、毎年5月のバラ祭には同市からバラの女王やブルガリア大使が来日するなどの交流が続いています。このように、本学は日本の大学の中で最もブルガリアとの交流が深い大学の1つといえるでしょう。

学務部 国際交流課





公開授業の様子

第18回 福山大学生命工学部公開授業が始まりました！

生命工学部では、ビジネス交流会：福山未来との共催で、今年も18回目の公開授業を行います。今回は、全体テーマを『もっと知りたい科学の世界！』と題し、身近な科学を学部独自の切り口からアプローチした講義と実験を企画しました。第1回は平成30年6月16日(土)に備後地域地場産業振興センターで、工学部機械システム工学科の加藤昌彦教授による「ミクロ・ナノが切り開く新しい表面」と生命工学部海洋生物科学科の山岸幸正准教授による「魚を育む海の森～瀬戸内の「藻場」を探る～」という題目で講演が行われました。第2回は翌週の6月23日(土)に学校法人福山大学宮地茂記念館で、市民フォーラムとの共催で行われました。サブタイトルとして「健康寿命を延ばそう」

と題し、生命栄養科学科の渡邊浩志客員教授(山陽病院医師)による「腎臓に良い生活習慣～透析しなくてもすむために～」と題した講演と健康チェックのコーナーが行われました。さらに、第3回は7月21日(土)に本学で実験の部を行います。今年度も一般とキッズの垣根を取り払い、「酵母と遊ぼう!」、「クロマトグラフィーで色素を分離!」、「キラ☆ブチ!カラフルいくらを作ろう!」、「かわいい!水中の妖精たちの観察」、「どうぶつ飛行機を作ろう!」の5テーマを用意しています。参加費はすべて無料ですので、是非、皆様ご来場ください。

詳しくは、学部のHPに掲載しています。
<https://www.fukuyama-u.com/life/>

生命栄養科学科 教授 井ノ内 直良

平成30年度 福山大学教育懇談会について

本学では、開学以来毎年、教育懇談会を開催しています。

この教育懇談会では、保証人の皆様に本学の近況をお知らせするとともに、教育理念や指導方針、学生生活や就職についてもご説明させていただいております。全体説明後、個別懇談においてご子女の学業成績や履修・出席状況等をお伝えし、保証人の皆様のご質問やご相談にお答えしています。

本年度も、本学(福山大学)会場を含め、全16会場での開催を予定しております。詳細は、7月中旬に「教育懇談会の開催について(ご案内)」を送付します。ご確認の上、同封の返信用ハガキにてご出欠をお知らせください。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。
学務部 教務課

開催日	開催地	会場名	対象学部
9月3日(月)	広島	広島ガーデンパレス	全学部
	岡山	ビュアリティまきび	全学部
	山口	山口グランドホテル	全学部
	沖縄	サザンプラザ海邦	全学部
9月4日(火)	鹿児島	ホテルマインデイズ鹿児島天文館	全学部
	福岡	福岡ガーデンパレス	全学部
	松江	松江エクセルホテル東急	全学部
	神戸	ホテル北野プラザ六甲荘	全学部
9月5日(水)	米子	米子ワシントンホテルプラザ	全学部
	大阪	大阪ガーデンパレス	全学部
	東京	アルカディア市ヶ谷(私学会館)	全学部
	高松	高松東急REIホテル	全学部
9月6日(木)	名古屋	名古屋ガーデンパレス	全学部
	高知	高知共済会館コミュニティスクエア	全学部
	松山	ホテルサンルート松山	全学部
9月8日(土)	福山	福山大学	経済学部(1・2年生)
			人間文化学部
			工学部
			薬学部(学生番号：奇数)
9月9日(日)	福山	福山大学	経済学部(3・4年生)
			生命工学部
			薬学部(学生番号：偶数)

※9月8日(土)・9日(日)は、都合が悪い場合、対象ではない日に出席されても構いません。

平成30年度 福山大学学生表彰について

平成30年5月23日(水)、大会館にて平成30年度福山大学学生表彰が行われました。今回は、学業部門36名が表彰(学長賞)されました。受賞者は下記のとおりです。表彰式では、松田文子学長からの挨拶に続いて、受賞者を代表して薬学部薬学科4年生の清水優貴さんが受賞の喜びと御礼の言葉を述べました。受賞された皆さん、おめでとうございます。学務部 学生課

学長賞【学業部門】

学部	学科	学年	氏名
経済学部	経済学科	2年	佐藤 有華
経済学部	国際経済学科	2年	三谷 龍哉
経済学部	税務会計学科	2年	銅谷 玲菜
人間文化学部	心理学科	2年	野田 明里
人間文化学部	メディア・映像学科	2年	波多 春奈
工学部	建築学科	2年	道上 拓海
工学部	情報工学科	2年	村上 達哉
工学部	機械システム工学科	2年	川上 皓太郎
生命工学部	生物工学科	2年	松田 華奈
生命工学部	生命栄養科学科	2年	徳永 賢二
生命工学部	海洋生物科学科	2年	名取 大智
薬学部	薬学科	2年	榎田 舞
経済学部	経済学科	3年	寺岡 永莉

学部	学科	学年	氏名
人間文化学部	心理学科	3年	藤井 香帆
人間文化学部	人間文化学科	3年	藤井 麻衣
工学部	スマートシステム学科	3年	川島 雄太
工学部	建築学科	3年	児嶋 亜美
工学部	情報工学科	3年	黒木 春樹
工学部	機械システム工学科	3年	早瀬 知輝
生命工学部	生物工学科	3年	西邑 明斗夢
生命工学部	生命栄養科学科	3年	村上 萌
生命工学部	海洋生物科学科	3年	安田 皓輝
薬学部	薬学科	3年	町支 七瀬
経済学部	経済学科	4年	池田 洸太
経済学部	国際経済学科	4年	李 曉彤
経済学部	税務会計学科	4年	福島 康太
人間文化学部	人間文化学科	4年	臂 幸実
工学部	スマートシステム学科	4年	勝部 雄介
工学部	建築学科	4年	廖 明陽
工学部	情報工学科	4年	小畠 祐里
工学部	機械システム工学科	4年	渋谷 秀治
生命工学部	生物工学科	4年	松田 真宝
生命工学部	生命栄養科学科	4年	柴田 千緩
生命工学部	海洋生物科学科	4年	與倉 陵太
薬学部	薬学科	4年	清水 優貴
薬学部	薬学科	5年	入江 なる実

研 究 活 動

平成30年度 科学研究費助成事業

★研究種目

◎研究代表者氏名・所属・職名・(研究期間)
研究課題・(平成30年度交付金額)

★基盤研究(B)

- ◎春名 章二 経済学部 教授 (平成28年～31年度)
イノベーション、企業間競争及び国際的生産活動のダイナミクスに関する研究 (250万円)

★基盤研究(C)

- ◎張 楓 経済学部 教授 (平成28年～30年度)
現代備後地域経済の形成過程に関する総合的研究：技術蓄積とネットワークの視点から (40万円)
- ◎赤澤 淳子 人間文化学部 教授 (平成28年～31年度)
アクティブラーニングを導入したデートDV予防・介入教育プログラムの開発と効果検証 (130万円)
- ◎青木 美保 人間文化学部 教授 (平成29年～31年度)
井伏鱒二未公開書簡の基礎的研究—文学の生成と「同学コミュニティ」の関係を視座に (100万円)
- ◎平 伸二 人間文化学部 教授 (平成29年～31年度)
国際テロ及び組織犯罪の未然防止に向けた事象関連電位による探索型情報検出の確立 (70万円)
- ◎松本 明生 人間文化学部 准教授 (平成29年～31年度)
アクセプタンスの獲得を用いたストレスマネジメントに関する臨床心理学的研究 (50万円)
- ◎小原 友行 人間文化学部 教授 (平成30年～32年度)
「グローバル・パートナーシップ」を育成する多文化間イシュー教材の日米協働開発 (120万円)
- ◎安田 暁 人間文化学部 教授 (平成30年～32年度)
解像度から深さへ：銀塩写真メディアの構造を応用したデジタル画像表現の質的転換 (180万円)
- ◎伍賀 正典 工学部 准教授 (平成28年～30年度)
光学式多軸触覚力覚センサの開発とアプリケーションへの適用に関する研究 (10万円)
- ◎山之上 卓 工学部 教授 (平成28年～30年度)
Wikiと良性ボットを使った悪性ボットネット対策システム (110万円)
- ◎尾関 孝史 工学部 教授 (平成28年～30年度)
電子ツールを利用したリアルタイムな授業の評価・改善に関する研究 (60万円)
- ◎金子 邦彦 工学部 教授 (平成28年～30年度)
データベースから予測失敗の原因を探る—直腸癌・放射化学療法の日利き支援— (70万円)
- ◎加藤 昌彦 工学部 教授 (平成29年～32年度)
ナノワイヤ利用微細凹凸による極低摩擦係数薄膜の開発 (230万円)
- ◎宮内 克之 工学部 教授 (平成30年～32年度)
炭素繊維束で端部定着された炭素繊維格子板のせん断特性の評価に関する研究 (170万円)
- ◎都祭 弘幸 工学部 教授 (平成30年～32年度)
ヒンジ部損傷抑制コアの効果に関する実験的研究 (180万円)
- ◎池岡 宏 工学部 准教授 (平成30年～32年度)
色収差およびカラーフィルタ絞りを利用したアオリ光学系による距離推定技術の開発 (100万円)
- ◎石井 香代子 生命工学部 教授 (平成29年～31年度)
給食施設への新調理システムの構築と製造管理 (70万円)
- ◎佐藤 淳 生命工学部 准教授 (平成30年～33年度)
アカネズミゲノム情報から瀬戸内海の古代河川が残した足跡をたどる (110万円)
- ◎渡邊 正知 薬学部 准教授 (平成27年～30年度)
SUMO化修飾を介した虚血耐性形成の分子機構解明—冬眠動物を用いたアプローチ— (90万円)
- ◎今 重之 薬学部 教授 (平成28年～30年度)
ネフロネクチンによる制御性B細胞分化抑制機序の解明と新規自己免疫疾患治療法の開発 (100万円)
- ◎木平 孝高 薬学部 講師 (平成28年～30年度)
低酸素誘導因子阻害剤のアディポネクチン高発現ベージュ細胞誘導を介した抗糖尿病作用 (110万円)
- ◎中尾 佳行 大学教育センター 教授 (平成29年～31年度)
『カンタベリー物語』Hg, Ei写本及び刊本の編集方法と言語・機能の研究 (80万円)
- ◎大塚 豊 大学教育センター 教授 (平成30年～32年度)
アジア諸国における華僑・華人による大学運営実態に関する実証的比較研究 (110万円)
- ◎Lowes Jason 大学教育センター 講師 (平成30年～32年度)
Determining the Best Practice to Prepare for Multiple-choice Tests (30万円)

★若手研究(B)

- ◎中道 上 工学部 准教授 (平成27年～30年度)
協調学習のための直観的なスマートインタラクション環境に関する研究 (50万円)

★若手研究

- ◎柴田 紗知 生命工学部 助教 (平成30年～32年度)
変形性関節症と骨粗鬆症の双方に有効な食品機能成分の探索と作用機構の解明 (150万円)
- ◎高山 健人 薬学部 助教 (平成30年～31年度)
腸内細菌叢の変化を介した緩下薬の下剤活性制御に関する研究 (180万円)

「第13回 高校生CMコンテスト2018」募集開始！

メディア・映像学科では、映像メディアに対する高校生の豊かな感性を開花させ、その才能を支援することを目的として「第13回高校生CMコンテスト2018」を開催します。

今年のテーマは「地域の魅力を発信」です。地域の魅力で人をひきつけ、そのまちなりに行きたくなるようなCMを考えてください。

今年度は、応募部門を「映像作品の部」「ポスターの部」に再編します。ビデオで撮影・編集して完成させた作品を応募する「映像作品の部」は、授業や部活動などで身につけた力を示す好機になるでしょう。そして、新設の「ポスターの部」は、地域の魅力を凝縮したキャッチコピーと写真やCG、イラストを組み合わせた作品を募集します。また、参考作品のウェブサイトでの公開も予定しています。昨年は全部門で合計634点の力作が集まりましたが、今年は昨年を超える新しい才能をお待ちしています。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.fukuyama-u.ac.jp/media/>

また、サイトに加えて学科のブログでもコンテストに関する情報を、随時発信していきます。審査には本学の教員に加え、テレビや



第12回 高校生CMコンテスト2017表彰式

映画の世界で活動するプロフェッショナルの映像クリエイターを複数名お招きします。また、受賞作品の紹介方法についても、新たな形での方法を検討中です。どうぞ、ご期待ください。

お問い合わせは、人間文化学部事務室

TEL.084-936-2112(内線:2223), もしくは
cm_contest@fuhc.fukuyama-u.ac.jp まで。

メディア・映像学科 教授 安田 暁



昨年の実技審査の様子



第7回最優秀賞『たことササミのジャンバラヤ丼、緑茶のムース』

第8回 高校生アイデアどんぶり選手権

生命栄養科学科では、第8回目となる「高校生アイデアどんぶり選手権」を実施します。高校生の皆さんが食と健康に関心を持ち、自分たちの住んでいる地域の様々な食材を使って「楽しく」「美味しく」栄養や料理のことを考えていただくことを目的としています。

出品されたどんぶり料理と、どんぶりに合うもう1品の計2品のレシピと写真を審査(第1次審査:書類審査)し、8名の入選者が平成30年8月8日(水)に第2次審査(生命栄養科学科の調理室における実技審査)を行い、最優秀賞等を決定します。昨年は、203件の応募の中から「たことササミのジャンバラヤ丼、緑茶のムース」が最優秀賞に選ばれました。また、入賞作品の一部は、カフェテリア爽風で期間限定メニューとして登場する予定です。今年も多くの方のご応募をいただき、現在、第1次審査中です。なお、選考の様子などは、生命工学部ホームページ内の生命栄養科学科ページに随時更新していきます。是非、ご覧ください。

<http://www.fukuyama-u.ac.jp/nutritional-sci/>

生命栄養科学科 教授 石井 香代子

選手権の概要

- 募集料理: どんぶり物(洋風・和風・中華風)と、どんぶり物に合うもう1品(副菜、汁物、デザートなど)の計2品
- 対象: 広島県内及び近県に住んでいる高校生
- 第2次審査: 平成30年8月8日(水) 10:00~14:00
- 表彰: 最優秀賞(1名) 賞状・副賞
優秀賞(1名) 賞状・副賞
審査員特別賞(1名) 賞状・副賞
第1次審査入選賞(5名) 賞状・副賞
学生賞(1名) 賞状・粗品
参加賞(全員) 粗品

学友会短信

【サッカー部】

- 4月22日
2018年度全広島サッカー選手権大会
決勝大会兼天皇杯JFA第98回全日本
サッカー選手権大会広島県代表決定戦
出場
- 4月29日～11月4日
2018年度中国大学サッカーリーグ出場
- 6月17日～7月1日
2018年度中国大学サッカー選手権兼
総理大臣杯全日本大学サッカートーナメ
ント大会中国地域予選大会出場

【硬式野球部】

- 4月1日～5月13日
平成30年度中国六大学野球春季リー
グ戦出場

【陸上競技部】

- 4月14日～15日
2018年度広島県国体強化記録会出
場
- 5月11日～13日
第72回中国四国学生陸上競技対抗選
手権大会出場
- 6月2日
第51回広島県学生陸上競技選手権大
会出場

【剣道部】

- 5月20日
第65回中四国学生剣道選手権大会兼
第50回中四国女子学生剣道選手権大
会出場
- 6月2日～3日
第63回西日本学生剣道選手権大会兼
第33回西日本女子学生剣道選手権大
会出場

【柔道部】

- 5月19日
全日本ジュニア体重別選手権大会広島
県予選会出場
- 6月23日～24日
平成30年度全日本学生柔道優勝大会
(男子67回・女子27回)出場

【軟式野球部】

- 5月13日～18日
平成30年度西日本地区軟式野球連盟
春季1部リーグ戦出場

【フットサル同好会】

- 4月21日
新入生歓迎会

【弓道部】

- 5月18日～20日
第62回西日本学生弓道選手権大会
出場

【ソフトテニス部】

- 5月2日～6日
第40回中国学生ソフトテニスリーグ戦
大会兼第62回中国学生ソフトテニス優
勝大会兼第20回中国学生ソフトテニス
シングルス選手権大会出場

【バスケットボール部】

- 5月26日～27日
平成30年度MURA SPRING CUP BB
出場

【少林寺拳法部】

- 4月29日
第53回少林寺拳法中四国学生大会
出場

【二輪部】

- 4月15日
新入生歓迎ツーリング
- 4月29日
JNCC第3戦ビッグディア広島 西日本
全国大会出場

- 6月3日
ルーツファクトリーカップ出場

- 6月10日
キャンパスオフロードミーティング西日本
大会第1戦出場

【シルクハット majic & juggle】

- 4月8日
さくら祭
- 5月19日～20日
第51回福山ばら祭2018

【YRC(ボランティア)部】

- 4月22日
芦田川清掃
- 4月29日
松永駅周辺清掃
- 5月5日
Kids Music Festival 2018
- 5月13日
第8回健康ウォーキング大会
- 5月19日～20日
第51回福山ばら祭2018

【Light Music Club】

- 4月21日
MUSICAL INSTRUMENT LIVE
- 6月23日
アラハタライブ出演

【薬学部音楽班】

- 4月27日
新入生歓迎ライブ
- 6月23日
アラハタライブ出演

【管弦楽団】

- 4月28日
薬学部白衣授与式BGM演奏

【吹奏楽部】

- 4月3日
入学式演奏
- 6月2日
第11回はたるの夕べ演奏

【Study For Two】

- 4月28日
尾道みなと祭り(ボランティア)

【ジャグリングサークルピース】

- 4月28日
尾道みなと祭り(ボランティア)

【ユースホステル部】

- 5月5日
岡山市こどもフェスティバル参加

【演劇部】

- 4月13日
劇団「天守り」第21回公演

【学友会ものづくり倶楽部】

- 6月10日
モノづくり教室

【学友会執行部】

- 4月27日
リーダーズ会議
- 4月28日
尾道みなと祭り(ボランティア)
- 5月17日～23日
春季献血活動実施
- 5月21日～25日
マナーアップキャンペーン実施

学務部 学生課

学内で献血を行いました。ご協力ありがとうございました。

平成30年5月23日(水)に、広島県赤十字センターの方々と協力して学内献血を実施しました。

事前にポケットティッシュを配布して、学内各所にポスターを掲示するなどの広報活動を行い、当日は63名の方が受付をして41名の方が献血をしてくれました。また、同時に骨髓バンクのドナー受付も行い、自主的に学生が授業の合間を縫って足を運んでくれました。

まだまだ参加者は少ないですが、献血に対する意識付けを工夫していきたいところです。

経済学科 2年 井上 大樹



国際交流瓦版

2017年

- ◆萩龍太郎さん(海洋生物科学科/4年)が、福山市立大学港輝祭で開催された第1回ツネイシカップ英語プレゼンテーション大会に出場し、優勝。



(11月11日)

- ◆第15回広島県高校生英語スピーチコンテストを開催。14校26名の高校生が英語でスピーチ。大賞受賞者は、広島なぎさ高等学校の生徒。



(11月18日)

- ◆ベトナム協定校のベトナム国家人文社会科学大学ホーチミン校の60周年記念式典に、富士彰夫副学長が出席。

(11月20日)

- ◆アメリカ・カリフォルニア大学リバーサイド校での夏季語学研修及びブルガリア・ソフィア大学並びに中国・上海師範大学での交換留学を終了した学生が、松田文子学長に報告。



(11月20日)

- ◆陳爽さん(経済学研究科/2年/中国出身)が、神石高原町立三和小学校で自国の文化・スポーツ等を紹介。

(11月27日)

- ◆中国協定校の山西師範大学から使節団が来学され、松田文子学長を表敬訪問後、各学部長と意見交換交流を行い、生

物工学科のワイン醸造所など学内施設を見学。



(12月1日)

- ◆国際センター留学生部の主催で、第3回福山大学留学生による多国籍料理教室を開催。日本人学生や教職員及び市民約35名が参加し、バングラデシュの名物料理『チキン・ロースト』(カレー風のローストチキン)や『ビーフ・ビリヤニ』(牛肉、香辛料入りの炊き込みご飯)、カレースープを調理。



(12月2日)

2018年

- ◆中国協定校の對外経済貿易大学と、学生交流におけるダブル・ディグリー制度に関する実施細則を締結。

(1月25日)

- ◆ニュージーランド・カンタベリー大学での語学研修に参加する勝部雄介さん(スマートシステム学科/4年)ら3名及び長期留学する外林秀太さん(国際経済学科/3年)ら2名が、学長室で決意表明。



(1月26日)

- ◆ニュージーランド・カンタベリー大学での集中英語研修の2週間プログラムに、田中千夏子さん(海洋生物科学科/4年)ら2名、3週間プログラムに枝真帆さん(薬学科/3年)が参加。

(2月16日~3月4日)
(2月16日~3月18日)

- ◆外国人留学生を支援する会主催の外国人留学生による日本語スピーチコンテストで、ペトロフ・マルティンさん(人間文化学科/交換留学生/ソフィア大学出身)が優秀賞を獲得。

(2月24日)

- ◆広島県日中親善協会主催の日中平和友好条約締結40周年記念交流会に、富士彰夫副学長が出席。

(3月2日)

- ◆アメリカ・カリフォルニア州立大学サンマルコス校と学術教育交流協定を締結

(3月5日)

- ◆外国人留学生を支援する会主催の外国人留学生による日本語スピーチコンテストで優秀賞を獲得したペトロフ・マルティンさんが、松田文子学長に受賞報告。



(3月7日)

- ◆ブルガリア・ソフィア大学での長期留学を終えた石井あすかさん(人間文化学科/4年)ら2名が、松田文子学長及び富士彰夫副学長に帰国報告。



(3月9日)

- ◆中国協定校の對外経済貿易大学から使節団が来学。



(3月17日)

- ◆平成29年度学位記授与式が挙行され、31名の学部留学生及び3名の大学院生が卒業。(3月20日)

- ◆アメリカ協定校のカリフォルニア大学リバーサイド校からVaughn新学部長ら計5名が来学。新たな共同奨学金である『Shaping Your FUTURE Scholarship (福山大学・UCR未来想像奨学金)』の調印式を実施。その後、Vaughn新学部長及びJenkins-Deas学部長補佐による講演会があり、柄の浦の視察観光。



(3月23日)

- ◆ニュージーランド・カンタベリー大学での集中英語研修を終えた学生3名に、松田文子学長から海外留学奨学金を授与。



(3月27日)

- ◆平成30年度入学式が挙行され、18名の新入留学生、中国の協定校から19名の編入留学生、4名の大学院生及び5名の交換留学生が入学。

(4月3日)

- ◆平成30年度第1回海外語学研修・交換留学プログラムの説明会を実施。

(4月5日)

- ◆メキシコ・モンテレイ大学と学術教育交流協定を締結。

(4月13日)

学務部 国際交流課

学 内 人 事

【法人役員】

◎就 任

理事長 鈴木 省三
 総長 清水 厚實
 副理事長・常務理事 尾崎 史郎
 理事 川久保和雄
 (以上5月27日付)

◎重 任

副理事長 松田 文子
 (5月27日付)

◎退 任

理事 大成 浄志
 (3月31日付)
 理事長 清水 厚實
 (5月26日付)

【教員】

【名誉教授称号授与】

前 薬学部 教授 吉富 博則
 (4月1日付)

【役職関係】

◎就任

学長補佐(ⅠR担当) 平 伸二
 工学部長補佐 加藤 昌彦
 スマートシステム学科長 仲嶋 一
 海洋生物科学科長 三輪 泰彦
 全学自己点検評価委員会自己点検評価実施小委員会委員長 田中 始男
 全学自己点検評価委員会点検評価項目策定小委員会委員長 坂口 勝次
 研究推進委員会委員長 松田 文子
 研究推進委員会副委員長 仲嶋 一
 共同利用センター長 鶴崎 健一
 共同利用センター副センター長 内垣戸貴之
 安全安心防災教育研究センター副センター長 都祭 弘幸
 ⅠR室長 平 伸二
 保健管理センター長 田中信一郎
 キャリア形成支援委員会委員長 久富 泰資
 キャリア形成支援委員会副委員長 津田 将行
 教務委員会委員長 石津 隆
 教務委員会副委員長 村上 泰子
 学生委員会副委員長 藤原 美樹
 学生の安全衛生委員会委員長 松浦 史登
 学生の安全衛生委員会副委員長 関田 隆一
 入試委員会委員長 佐藤 圭一
 入試委員会副委員長(委員長補佐) 富田 久夫
 広報委員会副委員長 前田 吉広
 (以上4月1日付)

◎退 任

学長補佐 山本 覚
 経済学部部長代行 平田 宏二
 工学部長補佐 尾関 孝史
 スマートシステム学科長 香川 直己
 海洋生物科学科長 満谷 淳
 全学自己点検評価委員会自己点検評価実施小委員会委員長 山本 覚
 全学自己点検評価委員会点検評価項目策定小委員会委員長 森田 哲生
 共同利用センター長 松浦 史登
 共同利用センター副センター長 鶴崎 健一
 安全安心防災教育研究センター副センター長 宮内 克之
 安全安心防災教育研究センタースマートコミュニティ推進部門長 関田 隆一
 キャリア形成支援委員会委員長 津田 将行
 キャリア形成支援委員会副委員長 前田 吉広
 教務委員会委員長 坂口 勝次

教務委員会副委員長 石津 隆
 学生委員会副委員長 石丸 敬二
 入試委員会委員長 富田 久夫
 入試委員会副委員長 佐藤 圭一
 広報委員会副委員長 安田 暁
 (以上3月31日付)

◎定年退職

工学部 教授 宮内 克之
 工学部 准教授 新谷 敏朗
 生命工学部 教授 秦野 琢之
 (以上3月31日付)

◎辞職

経済学部 講師 井上 直樹
 経済学部 講師 井手吉成佳
 人間文化学部 講師 山東 資子
 (以上3月31日付)

◎再雇用期間満了

薬学部 教授 吉富 博則
 (3月31日付)

◎任期満了

経済学部 教授 中澤 孝夫
 人間文化学部 教授 山川 廣司
 生命工学部 教授 石崎由美子
 生命工学部 教授 渡邊 浩志
 生命工学部 准教授 高橋知佐子
 (以上3月31日付)

◎昇任

経済学部 教授 張 楓
 工学部 准教授 池岡 宏
 生命工学部 准教授 吉崎 隆之
 大学教育センター 教授 地主 弘幸
 共同利用センター 教授 鶴崎 健一
 (以上4月1日付)

◎配置換(助手→助教)

薬学部 助教 中村 徹也
 共同利用センター 助教 稗田 雄三
 (以上4月1日付)

◎配置換

経済学部 准教授 上迫 明
 (経済学科→税務会計学科)
 ⅠR室 助教 片桐 重和
 (以上4月1日付)

◎兼任

(兼)工学部 助教 片桐 重和
 (兼)薬学部 助教 稗田 雄三
 (兼)大学教育センター 教授 秦野 琢之
 (兼)大学教育センター 教授 北浦 孝
 (兼)大学教育センター 講師 村上 亮
 (兼)共同利用センター 助教 片桐 重和
 (兼)内海生物資源研究所 助手 黒澤 菜海
 (兼)安全安心防災教育研究センター 教授 宮内 克之
 (兼)ⅠR室 教授 占部 逸正
 (兼)ⅠR室 助手 記谷 康之
 (以上4月1日付)

◎免兼任

(兼)経済学部 教授 筒本 和広
 (兼)大学教育センター 准教授 中村 博
 (兼)大学教育センター 准教授 清水 洋子
 (兼)大学教育センター 准教授 趙 建紅
 (兼)共同利用センター 准教授 上迫 明
 (兼)内海生物資源研究所 助手 菅谷 恵美
 (兼)安全安心防災教育研究センター 教授 金子 邦彦

(兼)安全安心防災教育研究センター 講師 池岡 宏
 (以上3月31日付)

◎採用

経済学部 教授 北浦 孝
 経済学部 教授 金丸 純二
 経済学部 講師 関下 弘樹
 経済学部 講師 大城 朝子
 経済学部 講師 高阪 勇毅
 経済学部 講師 藤本 倫史
 経済学部 講師 藤本 浩由
 人間文化学部 講師 村上 亮
 生命工学部 教授 田中信一郎
 生命工学部 准教授 西 彰子
 生命工学部 講師 近藤 寛子
 生命工学部 助手 鴻池 優佳
 生命工学部 助手 黒澤 菜海
 薬学部 講師 坂根 洋
 薬学部 助教 西山 卓志
 薬学部 助手 竹田 沙記
 大学教育センター 助手 記谷 康之
 (以上4月1日付)

◎再採用

工学部 教授 宮内 克之
 工学部 准教授 新谷 敏朗
 生命工学部 教授 秦野 琢之
 (以上4月1日付)

◎客員教授

経済学部 田中 秀征
 経済学部 玉置 知巳
 経済学部 向井 洋
 経済学部 平山 亮
 工学部 横井 一仁
 工学部 長岡 正芳
 工学部 齋崎 展
 生命工学部 渡邊 浩志
 生命工学部 宮崎 信之
 薬学部 村上 信行
 薬学部 吉富 博則
 薬学部 菅 奈奈美
 大学教育センター 中越 信和
 (兼)安全安心防災教育研究センター
 (以上4月1日付)

◎特命講師

大学教育センター 山口 昌宏
 (4月1日付)

◎学校法人福山大学宮地茂記念館館長 尾島 勝
 (4月1日付)

【職員】

◎辞職

施設課参事 小林 厚雄
 (3月31日付)

◎任期満了

附属図書館事務職員 村上 翠
 (3月31日付)

◎昇任

秘書室長 坪根 栄俊
 (兼)国際交流課長 松本 純佳
 秘書室秘書主任 松本 純佳
 (兼)学校法人福山大学秘書室秘書主任
 総務部長 伊藤日登志
 学生課長 山成 光俊

国際交流課交流主任 神原 葉月
 薬学部事務部長 皿谷 英敏
 (兼)薬学部事務長

(以上4月1日付)
 教務課課長代行(課長待遇) 藤原 紀子
 (兼)学生課参事
 (4月9日付)

◎配置換

学務課長 奥村 健一
 学生課課長補佐 楠見 宣昭
 学生課参事 藤原 紀子
 国際交流課参事 阿南 達子
 経済学部・人間文化学部事務長 村上 司
 (以上4月1日付)
 学生課事務職員 門田 華江
 (4月9日付)
 教務課課長代理 藤原 紀子
 (6月1日付)

◎兼務

(兼)学校法人福山大学入試広報室参事 岡田 啓司
 (兼)工学部・生命工学部事務長 松野 宣英
 (以上4月1日付)
 (兼)用度課職員 記谷 康之
 (5月1日付)

◎免兼務

総務部長事務取扱 吉留 義史
 (兼)秘書室長 麓 勉
 (兼)学校法人福山大学秘書室事務職員 松本 純佳
 (兼)薬学部事務長 武田 康成
 (兼)国際交流課長 阿南 達子
 (兼)国際交流課課長補佐(UCR等担当) 坪根 栄俊
 (以上3月31日付)

◎採用

学校法人福山大学参与 岡崎 文憲
 (兼)福山大学参事
 入試広報室入試戦略主管(課長待遇) 藤本 進
 (兼)学校法人福山大学入試広報室参事
 入試広報室参事 間東 斉
 (兼)学校法人福山大学入試広報室参事
 入試広報室参事 増井 誠徳
 (兼)学校法人福山大学入試広報室参事
 内海生物資源研究所技術職員 藤川 稔晃
 社会連携センター参事(事務属託員) 前原 幸三
 (以上4月1日付)
 内海生物資源研究所技術職員 得能 譲
 (5月8日付)

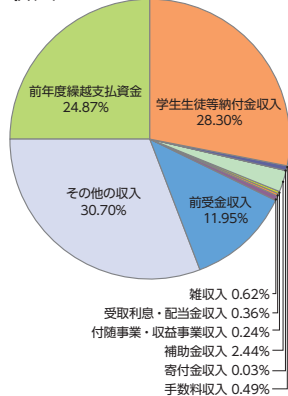
平成29年度 学校法人福山大学財務状況

資金収支計算書

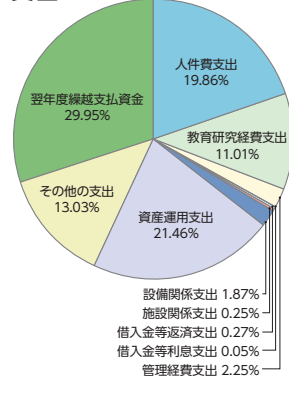
(平成29年4月1日～平成30年3月31日) (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,767,027,159	人件費支出	3,561,222,521
手数料収入	99,693,500	教育研究経費支出	1,974,150,661
寄付金収入	6,948,340	管理経費支出	403,219,648
補助金収入	496,634,874	借入金等利息支出	9,302,425
資産売却収入	0	借入金等返済支出	47,760,000
付随事業・収益事業収入	49,742,000	施設関係支出	45,467,780
受取利息・配当金収入	72,166,623	設備関係支出	335,063,609
雑収入	126,777,120	資産運用支出	3,847,000,000
借入金等収入	0	その他の支出	2,335,183,674
前受金収入	2,434,215,438	資金支出調整勘定	△ 81,070,643
その他の収入	6,256,440,186		
資金収入調整勘定	△ 2,531,074,957		
前年度繰越支払資金	5,067,659,393	翌年度繰越支払資金	5,368,930,001
収入の部合計	17,846,229,676	支出の部合計	17,846,229,676

収入



支出



資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目の説明

収入の部	
学生生徒等納付金収入	授業料・入学金・実験実習料等の収入
手数料収入	入学検定料や各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金収入	金銭及びその他の資産を寄贈者から贈与された収入
補助金収入	国または地方公共団体から交付される補助金収入
資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却による収入
付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業および収益事業による収入
受取利息・配当金収入	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
借入金等収入	返済期限が貸借対照日後1年を超えて到来する長期借入金と1年以内の短期借入金及び学校債の発行による収入
前受金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収入したもの
その他の収入	上記以外の収入で、各種特定資産の取崩収入及び預り金等の収入
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入ですが、資金の収入が当年度中に行われず、前年度以前または翌年度以降となる項目を調整する勘定科目
支出の部	
人件費支出	教職員人件費、役員報酬、退職金に係る支出
教育研究経費支出	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出
管理経費支出	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出
借入金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出
施設関係支出	土地、建物、構築物等の固定資産の取得に係る支出
設備関係支出	機器備品、図書、車両等の取得に係る支出
資産運用支出	各種特定資産への繰入金取得、有価証券の取得に係る支出
その他の支出	上記以外の支出で、前払金、仮払金等に係る支出
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出であるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは、翌年度以降になるもの

事業活動収支計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日) (単位:円)

科目	金額
教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	5,767,027,159
手数料	99,693,500
寄付金	10,342,666
経常費等補助金	458,377,874
付随事業収入	49,742,000
雑収入	126,777,120
教育活動収入計	6,511,960,319
事業活動支出の部	
人件費	3,613,436,391
教育研究経費	2,905,511,754
管理経費	459,178,053
徴収不能額等	0
教育活動支出計	6,978,126,198
教育活動収支差額	△ 466,165,879
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	72,190,709
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	72,190,709
事業活動支出の部	
借入金等利息	9,302,425
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	9,302,425
教育活動外収支差額	62,888,284
経常収支差額	△ 403,277,595
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	0
その他の特別収入	38,257,000
特別収入計	38,257,000
事業活動支出の部	
資産処分差額	0
その他の特別支出	0
特別支出計	0
特別収支差額	38,257,000
基本金組入前当年度収支差額	△ 365,020,595
基本金組入額合計	△ 816,645,459
当年度収支差額	△ 1,181,666,054
前年度繰越収支差額	7,883,499,897
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	6,701,833,843
(参考)	
事業活動収入計	6,622,408,028
事業活動支出計	6,987,428,623

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、毎会計年度の3つの活動（教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動）に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。

科目の説明

事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料・入学金・実験実習料等の収入
手数料	入学検定料や各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金	資金収支の寄付金収入に現物寄付を加えた額（施設設備に係る寄付は除く）
経常費等補助金	国や地方公共団体から交付される補助金収入（施設設備に係る補助金は除く）
付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
受取利息・配当金	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
その他の教育活動外収入	収益事業等からの収入
資産売却差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を超えた場合の超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、補助金及び過年度修正額による収入
事業活動支出の部	
人件費	教職員人件費、役員報酬、退職金に退職給与引当金繰入額を加えたもの
教育研究経費	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出に減価償却額を加えたもの
管理経費	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出に減価償却額を加えたもの
徴収不能額等	前年度以前に計上した未収入金等で、当年度において回収不能と判断した額
借入金等利息	借入金及び学校債の利息に係る支出
その他の教育活動外支出	為替差損等に係る支出
資産処分差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を下回った場合の差額及び資産を売却した場合の除却損
その他の特別支出	災害損失及び過年度修正額に係る支出
その他の項目	
基本金組入前当年度収支差額	当年度における教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の全ての収入と支出の差額
基本金組入額合計	第1号基本金から第4号基本金の当年度組入額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除した当年度の収支差額
前年度繰越収支差額	前年度までの累積収支差額
基本金取崩額	基本金を取り崩した場合の額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額と基本金取崩額を加えた額で翌年度に繰り越す収支差額
事業活動収入計	当年度の事業活動収入の合計
事業活動支出計	当年度の事業活動支出の合計

貸借対照表

(平成29年4月1日～平成30年3月31日) (単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	59,378,553,491	固定負債	2,211,909,832
有形固定資産	28,413,451,606	長期借入金	407,070,000
土地	6,885,223,494	退職給与引当金	1,744,965,708
建物	13,838,349,343	長期未払金	59,874,124
構築物	741,035,399	流動負債	2,714,916,863
教育研究用機器備品	2,171,034,546	短期借入金	47,760,000
管理用機器備品	34,156,552	未払金	117,120,801
図書	4,728,838,626	前受金	2,434,215,438
車両	12,830,247	預り金	115,820,624
船舶	1,983,399	負債の部合計	4,926,826,695
特定資産	30,928,303,479		
第2号基本金引当特定資産	3,700,000,000	純資産の部	
退職給与引当特定資産	1,745,016,830	科目	金額
減価償却引当特定資産	15,494,923,708	基本金	53,398,658,311
校舎建設等引当特定資産	4,575,757,976	第1号基本金	49,291,658,311
創設準備引当特定資産	5,412,604,965	第2号基本金	3,700,000,000
その他の固定資産	36,798,406	第4号基本金	407,000,000
電話加入権	3,048,426	繰越収支差額	6,701,833,843
施設利用権	600	翌年度繰越収支差額	6,701,833,843
保証金	33,479,380	純資産の部合計	60,100,492,154
敷金	270,000		
流動資産	5,648,765,358	負債及び純資産の部合計	65,027,318,849
現金預金	5,368,930,001		
未収入金	112,990,377		
有価証券	81,363,520		
前払金	27,849,844		
仮払金	57,631,616		
資産の部合計	65,027,318,849		

貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産（基本金、繰越収支差額）の状況を示すものです。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支を示すのに対して、貸借対照表はこれまでの財務状況の積み重ねを示しています。

科目の説明	
資産の部	
固定資産	次の有形固定資産、特定資産、その他の固定資産の合計
有形固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する有形の資産で、土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車両等
特定資産	基本金引当特定資産及び各種引当特定資産
その他の固定資産	電話加入権、施設利用権、有価証券等
流動資産	現金預金、未収入金、貯蔵品等
負債の部	
固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
純資産の部	
基本金	学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れた金額で、第1号基本金から第4号基本金があります
第1号基本金	教育活動を行うために取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産の取得に充てる金銭及びその他の資産の額の額
第3号基本金	奨学金等の基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭及びその他の資産の額の額
第4号基本金	恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額
繰越収支差額	累積の収支状況を示しており、事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額と一致します

財産目録

(平成30年3月31日) (単位:円)

一 資産額			32,113,451,606
1. 基本財産			
土地	大学敷地 他	337,887 m ²	6,885,223,494
建物	大学校舎 他	149,635 m ²	13,838,349,343
構築物	道路舗装 他		741,035,399
教育研究用機器備品	パソコン 他		2,171,034,546
管理用機器備品	学生寮厨房機器 他		34,156,552
図書			4,728,838,626
車両			12,830,247
船舶			1,983,399
建設仮勘定			0
第2号基本金引当特定資産			3,700,000,000
2. 運用財産			32,913,867,243
現金預金			5,368,930,001
退職給与引当特定資産			1,745,016,830
減価償却引当特定資産			15,494,923,708
校舎建設等引当特定資産			4,575,757,976
創設準備引当特定資産			5,412,604,965
電話加入権			3,048,426
施設利用権			600
保証金			33,479,380
敷金			270,000
未収入金			112,990,377
有価証券			81,363,520
前払金			27,849,844
仮払金			57,631,616
資産総額			65,027,318,849
二 負債額			
1. 固定負債			2,211,909,832
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		407,070,000
退職給与引当金			1,744,965,708
長期未払金			59,874,124
2. 流動負債			2,714,916,863
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		47,760,000
未払金			117,120,801
前受金			2,434,215,438
預り金			115,820,624
負債総額			4,926,826,695
正味財産(資産総額－負債総額)			60,100,492,154

監 査 報 告 書

平成30年5月16日

学校法人 福山大学

理 事 会 御 中

評 議 員 会 御 中

学校法人 福山大学

監 事 宇保 昇

監 事 北波 耕二

私たちは、学校法人福山大学の監事として、私立学校法第37条第3項及び学校法人福山大学
 省附行為第7条の規定に基づき、同法人の平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日
 まで)における財産目録及び計算書類(貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書)を
 含め、学校法人の業務及び財産に関し監査を行いました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは
 省附行為に違反する重大な事実のないことを認めました。

以 上

平成31年度 入学試験の概要

平成31年度入学試験の日程については、次のとおりです。全入学試験において、同窓生・在学生入学金減免制度を実施しています。同窓生・在学生入学金減免制度とは、本学・福山平成大学の同窓生の子弟及び在学生の兄弟に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を減免する制度(出願時に必要書類を提出)です。また、同窓生の子弟及び在学生の兄弟とは、入学者の親、兄弟、姉妹のいずれかが本学・福山平成大学の卒業生又は在学生(留学生は除く)です。この他、指定校入学試験も実施しています。

なお、入学試験の詳細については入試広報室までお問い合わせください。

◆入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日
A O 入学試験 (第 1 期)	(エントリーシート提出期間) 平成30年 8 月 1 日(水) ～ 8 月 6 日(月)(必 着)	平成30年 9 月 7 日(金)	平成30年 9 月11日(火)
A O 入学試験 (第 2 期)	(エントリーシート提出期間) 平成30年 9 月10日(月) ～ 9 月15日(土)(必 着)	平成30年10月16日(火)	平成30年10月18日(木)
推薦入学試験 (A 日程) (試験日自由選択制)	平成30年10月18日(木) ～ 11 月 1 日(木)(必 着)	平成30年11月 6 日(火) 平成30年11月 7 日(水)	平成30年11月10日(土)
推薦入学試験 (B 日程)	平成30年11月22日(木) ～ 12 月 4 日(火)(消印有効)	平成30年12月 8 日(土)	平成30年12月12日(水)
前期入学試験 (A 日程) (試験日自由選択制)	平成31年 1 月 7 日(月) ～ 1 月25日(金)(消印有効)	平成31年 1 月31日(木) 平成31年 2 月 1 日(金) 平成31年 2 月 2 日(土) 平成31年 2 月 3 日(日)	平成31年 2 月 9 日(土)
前期入学試験 (B 日程)	平成31年 2 月 5 日(火) ～ 2 月15日(金)(消印有効)	平成31年 2 月20日(水)	平成31年 2 月23日(土)
後 期 入 学 試 験	平成31年 2 月25日(月) ～ 3 月 5 日(火)(消印有効)	平成31年 3 月 9 日(土)	平成31年 3 月13日(水)
センター試験利用入学試験 (前 期 日 程)	平成31年 1 月 7 日(月) ～ 1 月25日(金)(消印有効)	個別学力試験は課しません	平成31年 2 月 9 日(土)
センター試験利用入学試験 (後 期 日 程)	平成31年 2 月25日(月) ～ 3 月 5 日(火)(必 着)	個別学力試験は課しません	平成31年 3 月13日(水)

※試験日自由選択制とは、上記試験日の中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。

志願者は、同一学部・学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。

◆試験地

○A O 入試(第1期・第2期) 【福山(宮地茂記念館)】

○推薦入試(A日程) 【11/6・11/7 本学・福山(宮地茂記念館)・広島・福岡・岡山】

【11/6 鳥取・徳島・高知・大阪・那覇】【11/7 松江・高松・松山・神戸・山口】

○推薦入試(B日程) 【本学・福山(宮地茂記念館)・広島・山口・松江・高松・松山・福岡・岡山・大阪】

○前期入試(A日程) 【1/31～2/3 本学・福山(宮地茂記念館)・広島・山口・福岡・岡山】

【1/31 鳥取・浜田・宮崎】【2/1 米子・大分】【2/2 静岡・京都・熊本】【2/3 名古屋・神戸・佐賀】

【1/31～2/1 東京・大阪・松山・高知・鹿児島】【2/2～2/3 松江・高松・今治・小倉】

○前期入試(B日程) 【本学・福山(宮地茂記念館)・広島・岡山】

○後期入試 【本学・福山(宮地茂記念館)・広島・福岡・岡山・大阪】

編集後記

学報第157号は、平成29年度の好調な就職状況や新入生合宿オリエンテーションの様子、学内トピックス等、内容盛りだくさんとなりました。また、4月に行われた新入生合宿オリエンテーションでは、新入生がたくさんの友人と出会って順調に大学生活をスタートさせたことや「学内トピックス」のコーナーでは、8件のニュースをお届けすることができました。広報委員会では、今後もたくさんの学内ニュースを取り上げたいと思います。

発 行 福山大学

編 集 福山大学広報委員会

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>